



いるか塾資料No.2019-01

2019-01-08

小林利治



文字入力 確定後の再変換

入力した文字を「Enter」キーで確定したあとでも 変換しなおすことができます。

「再変換」といいます。いくつかの方法を紹介します。

Word を起動して 「きぼう」を入力し 変換します

変換したい文字のところでクリックします。カーソルが移動します。

カーソルの位置は 変換したい文字のところであればどこでもかまいません。

「変換」あるいは「前候補・変換（次候補）」と印字されたキーを押します。

変換候補一覧が表示されたと思います。



必要な変換文字がない場合は「人名地名」をクリックします



漢字変換

①スペース キー を押せば変換をしてくれます。 このとき自分の考えているように漢字に変換してくれればよいのですが、 そうでないときもあります。そのときはどうすればよいかを以下で説明します。

文節

スペース キーを押して、漢字に変換すると、文章は文節に分割され、 文節ごとに、適切な漢字に変換されています。例えば

文節の分割が正常であっても誤変換が起きている文節があることがあります。 このときは

1、左右の矢印キーによって、誤変換が起きている文節に移動

2. スペース キーを押す

②文節の長さを変更しなければならない場合もあります。 次のような文章を考えましょう。

Word を起動して 下（赤線枠）文字を入力します

きょうはいしゃに行く

漢字にした場合には次の2通りが考えられます。

普通は最初の候補が表示されています。
この線が一つの文節です

今日は医者に行く

こちらの文章に変換したいのですが
文節の長さを変更しなければなりません。
そのためには

今日歯医者に行く

1. 変更したい最初の文節に左右の矢印キーを使って移動する。
2. Shift キーを押しながら、左右の矢印キーを押して、文節の長さを変える。

今日は医者に行く

この状態でスペース キーを押すと、指定された文節の長さで、漢字変換を試みます。候補が間違っていれば、スペース キーを押したり、表示される候補の中から正しいものを選んだりして処理します。

注記：Microsoft, 2010 2007 では
スペースキーより変換キーが使いやすいです。

今日歯医者に行く

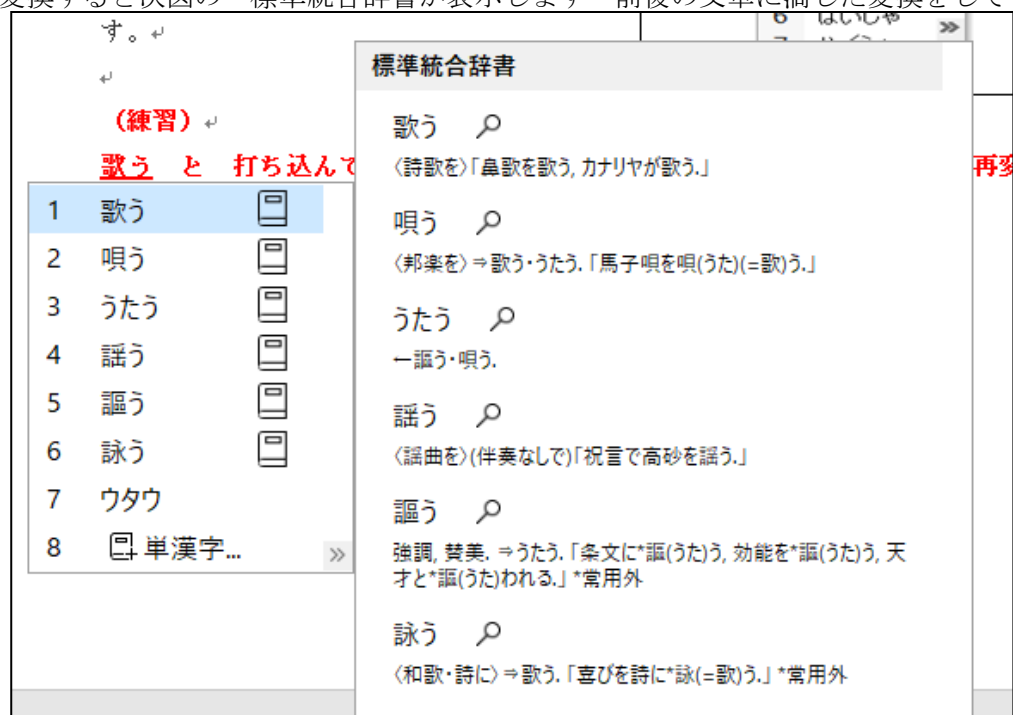
0	歯医者	?
1	歯医者	
2	敗者	
3	廃車	
4	配車	
5	拝謝	
6	はいしゃ	>>
7	ハイシャ	▼

(練習)

(utau) うたう と 打ち込んで変換してください・・・次ページにつづく



変換すると次図の 標準統合辞書が表示します 前後の文章に滴した変換をして下さい



要点まとめ

音楽的なメロディーをつけて発声する場合は「歌う」「唄う」「謡う」のどれを使ってもいい。一般的には「歌う」が使われる。

日本的な音楽の場合は「唄う」「謡う」を使うことも多い。

謳歌する、文章や演説で主張するという意味の場合は「謳う」を使う。

「謳う」だけ意味が違うので注意が必要です。

「歌う」「唄う」「謡う」は基本的にどれを使ってもいいですが、文章の雰囲気によって使い分けたいですね。

謳うの意味・使い方

「謳う」というのは「青春を謳歌する」のオウという漢字の訓読みです。ですから多くの人がほめたたえる・謳歌するという意味があります

例：青春を謳う。 例：憲法では戦力を保持しないと謳っている。

例：【謳い文句】ファミマの限定『旨辛おでん』謳い文句の「シビれる辛さ」がどれほどか確かめてみたい。

